

第4号 2026年3月15日

# 気候変動新聞

発行 22世紀八幡ルネッサンス運動

NP022 世紀八幡ルネッサンス協会

〒614-8037 京都府八幡市八幡高畑 10-76

電話 075-981-6505 090-3710-4842

## 温室効果ガスは増えるばかり？

さとうちょうさく

ミラノ・コルティナ冬季五輪は2都市4会場で開催されました。コンパクトな五輪から広域開催に歩みを変える試みといわれています。気候危機がオリンピックにも影響していることは事実です。

カナダのウォータールー大学は、「温室効果ガスの排出が続けば、過去の冬季五輪 21 都市中、今世紀末に出来るのは1都市だけ」との研究結果を発表しました。

南極大陸は、氷床に覆われていますが、南米大陸に向かって伸びる南極半島では、棚氷の崩壊、氷河の後退が進んで地面が露出している箇所があります。温暖化の影響が顕著に表れています。

南極でもこのまま温室効果ガスの排出が続けば、2100年までにどのようなことが起るかの研究発表があります。

地球の平均気温が、産業革命以前より4.4度上昇した場合、海を覆っている海水が20%減少して、藻類の減少を引き起こし、それを食べるオキアミが減少、クジラやペンギンの減少を招きます。生態系に深刻な影響を及ぼすことになります。

1.8度の上昇では、氷河の減少や棚氷の崩壊、氷河の後退など極端なことが起こりつつも生態系に与えるダメージは穏やかであるとしています。

化石燃料の中でも、石炭は温室効果ガスの排出量大きいのですが、この国は、石炭火力推進の姿勢は変わっていません。水素やアンモニアの混焼で石炭火力を維持・推進の姿勢です。石炭火力発電を多く持つ韓国でさえも40年までに廃止を表明しました。

企業経営の立場から考えても、古い技術に固執することより、新しい技術柄の挑戦も課題なのではないでしょうか。

春秋が  
なければ俳句  
できはせぬ

戦争を  
している場合か  
この地球

春先に  
夏の炎暑におび  
えけり

土井重悟

気候変動を憂う川柳



提供者 堀 渉氏

## 編集後記

最初はモタモタし、しどろもどろの編集会議でしたけれど、4号編集はスツと行きました。これからもこの調子で。なにしろ、気候変動の状況がきびしいので

編集長 伊藤錚治

## 緊急レポート「八幡の宝が消える？」

地球温暖化がもたらす地元の危機」世界的な地球温暖化は、遠い氷河の話ではなく、私たちの八幡市でも静かに進行中です。伝統の竹・茶・川が危機に直面しています。22世紀八幡ルネッサンス運動が現場の「今」を報告します。

### 1. 竹林の変容：エジソンゆかりの男山を守れるか

男山の竹林は、エジソンが電球フィラメントに使った八幡の誇り。しかし、気温上昇と降水変化でタケノコ時期が早まり、竹の節強度が低下。農家の懸念が高まっています。放置竹林の拡大で土砂災害リスクが増大。NPO「八幡たけくらぶ」などが整備を続けていますが、温暖化が加速させる恐れがあります。

### 2. 茶の香りが危ない：山城の伝統を襲う暖冬

八幡～京田辺の茶園は玉露・抹茶の名産地。3月の高温で萌芽が早まる一方、4月の晩霜（凍霜害）があればリスクが増加。2021年などの深刻被害が近年頻発し、研究で温暖化の影響が指摘されています。

### 3. 三川合流の要衝：水害の歴史と新たな脅威

宇治川・木津川・桂川が合流する八幡は、古来水と共に生きてきた地。象徴の「流れ橋」（上津屋橋）は増水で橋板が流れる設計ですが、近年流出頻度が加速（過去10年超で複数回、2023年台風7号でも流出）。1時間100mm超の極端豪雨が増え、気候変動が洪水リスクを高めています。堤防強化が進むも、経験を超える雨が脅威です。（文責 中村たかし）

令和8年4月1日より、今までの「プラマーク製品」とあわせて、「100%プラスチックでできた製品」を一緒に出すことができます。「100%プラスチックでできた製品」とは①100%プラスチックでできている②長さが50センチ未満③45リットルの袋に入る④汚れが付着していないの4つを全て満たしたものです。金属と一体のものは『燃やさないゴミ』にペットボトルのふたとラベルは出せますが、ボトル本体は『資源物置場』に出してください。また、リチウムイオン電池は『燃やさないゴミ』に出しましょう。

